

第7回旧吉田茂邸活用検討会議結果概要

日 時 平成19年7月3日(火) 14:00~16:15
場 所 大磯町立福祉センター 2階 レクリエーション室
出席者 別紙名簿のとおり
傍聴者: 傍聴人なし

概 要

1. 会長あいさつ【省略】

・県異動職員の紹介

2. 議題

(1) 旧吉田茂邸特別公開について

○事務局より資料説明

○質疑

委 員: 特別公開に合わせて庭の手入れはどうか。

事務局: 手入れについては、西武鉄道(株)、プリンスホテルに依頼していきたい。

委 員: 今のままで公開したら、かえって来た人にマイナスイメージを与える。庭だけでなく、松の手入れもしなくてはいけない。

事務局: 松の手入れも含め、所有者である西武と調整していきたい。

委 員: 広報などに掲載していくのか。

事務局: 広報、ホームページ、ローカル紙などに掲載する予定である。

委 員: 申込は、往復はがき1人1枚か。代表者が団体に申込めるのか。

事務局: 受託業者と調整していく。広報等の掲載までには決めていきたい。

委 員: 来場者の駐車場はどうするのか。

事務局: 募集要項の中に記載していくが、基本的には駐車場は用意しない考えである。

委 員: 広報をするのはいつ頃か。広報おおいそ、ホームページなどの媒体により差が出る可能性がある。不公平が無いよう考えているのか。

事務局: 不公平が無いように、また、申込希望日や掲載の仕方についても工夫をしたい。

(2) 旧吉田茂邸シンポジウム(仮称)について

○事務局より資料説明

○質疑

委員：基調講演を予定される柴田氏の著書は、どのような物があるのか。折角のシンポジウムなので、事前に本などを読んでおきたい。

事務局：柴田先生は、吉田記念財団の評議員でもあり、以前に町図書館で講演を実施していただいた経緯もある。著書は多数あるので、別途調べて連絡したい。

委員：パネリストに防衛省の職員を入れても大丈夫か。

事務局：コーディネーターの柴田先生も、政治色をあまり出さないようにしたいと言っている。1部では、吉田茂の人物像に迫り、2部では邸宅についてが中心になる予定である。

委員：シンポジウムの参加者の範囲は。

事務局：県も共催という形を予定しているので、県下レベルになると考える。

委員：第3部で建物の中を見せる考えだが、どの程度まで見せる予定か。

事務局：最終的には西武との調整になるが、一般的な見学のコースになるものと考えている。

委員：シンポジウムへ県知事を招聘できないか。

県：知事の日程調整が合えば、可能ではないか。

事務局：今後、県、湘南地域県政総合センターとも調整していきたい。

委員：麻生太郎氏は招聘できないか。

事務局：今後、検討させていただく。

(3) 旧吉田茂邸利活用に係る提言について

○事務局より資料説明

○質疑

委員：八宰相記念室に掲出できる資料が収集できるのか。

事務局：八宰相のパネルの展示、年表等を中心に考えている。八宰相にまつわる記念品などは他から借りるなど、担当課等とも調整したい。

建物整備については、提言の中に入れておかないと無くなる可能性があるもので、提言に入れたものである。

委員：回遊ミニバスの内容は。

事務局：コミュニティバスについては、町長も町内への導入を考えている。将来的には、旧吉田邸の整備、大磯港の整備と合わせ、別荘群などを結ぶ循環的なバスの運行を視野に入れている。

委員：鎌倉古道の整備の意味合いは。

事務局：鎌倉古道の整備については、委員さんから出た内容である。課題として入れさせていただいた。

委員：鎌倉古道は元々、吉田邸の周りにあったものではないか。中にもあったはずである。吉田邸周辺、血洗川の河川敷、海岸へ出るところなど周辺も併せて遊歩道整備を行わなければ意味がない。

委員：鎌倉古道という表記はどうか。歴史的な裏付けが取れないのでは。万葉道くらいの方が良いのでは。

委員：いずれにしても、吉田邸周辺の道路は汚れている。何らかの整備をしないとイケない。

委員：検討会は吉田邸の建物の利活用が中心のはず。要望なので細かい所まで入れるのはどうか。

委員：吉田邸の整備と併せて、周辺整備も要望するという考えである。

会長：提言書の骨子案としては、大筋でこの案で構わない。

委員：この案の内容に添って事務局で作成してもらいたい。

事務局：委員さんの協同で提言書を作成していくことになる。別途、提言書の内容、文言の内容を確認していただきたい。

提言書自体は、あまり細くならない。方向性を出すという考え方である。

事務局で骨子案に肉付けしたものを作成するので、確認を検討会の委員さんにしていただきたい。

(4) その他

○今後の検討会議の進め方について

○質疑

事務局：8月に最後の検討会を開催し、町長に提言書を出していただきたい。

その間に事務局で作成する骨子案に肉付けした提言書案を検討してもらう作業部会的なスケジュールを考えている。

会長：検討会の中から提言書の案を検討していただく委員を選出する。

委員は会長、副会長、商工会から石井委員、町区長連絡協議会から1名とする。

以上

第7回旧吉田茂邸活用検討会議出席者名簿(敬称略)

H19.7.3 大磯町立福祉センター レクリエーション室

区分	氏名	備考
会長	原田 義彦	大磯町教育委員会委員長
副会長	井上 浩吉	大磯町観光協会会長
委員	関野 好一 後藤 勲 石井 晴夫 遠藤聡太郎 向井 英辨 鈴木 馨 荒金 謙次	大磯町区長連絡協議会会長 大磯町区長連絡協議会副会長 大磯町商工会事務局長 大磯町観光協会事務局長 西小磯地区 中丸地区 大磯ガイドボランティア協会会長
オブザーバー (神奈川県職員)	中島 秀和 笠間 順 江指 茂樹 山田 養一 安西 省三	神奈川県企画部政策課副主幹 神奈川県県土整備部都市整備公園課技幹 神奈川県県土整備部都市整備公園課主任技師 神奈川県平塚土木事務所道路都市部道路都市課長 湘南地域県政総合センター企画県民部長
事務局 (大磯町職員)	加藤 幹雄 杉山 賢治 仲手川 孝 大槻 直行 和田 勝巳 西村 昭弘	大磯町参事(行政改革・企画担当) 大磯町企画室長 大磯町企画室副主幹 大磯町企画室主査 大磯町環境経済部経済観光課長 大磯町都市整備部まちづくり課長